

小樽支部 2月



小樽商大大学院の斎藤一朗教授が講師を務めた金融機関に関する勉強会

金融機関自己評価学ぶ

金融庁新指標 小樽商大教授が講演

北海道中小企業家同友会
しりべし・小樽支部は、地方金融機関が自己評価を行うための新指標「ベンチマーク」について学ぶ勉強会を北海道新聞小樽支社で開催

いた。小樽商大大学院の斎藤一朗教授が新指標の趣旨について「（取引先の将来性を分析する）『事業性評価』に基づく融資を促すもの」と説明。中小企業側に

は「金融機関との関係改善の機会になる」と語った。

ベンチマークは金融庁が

昨年9月に導入。主力行と

して取引する企業のうち経営改善がみられた件数や、担保に頼らず事業内容を見極めた融資件数など55項目に沿って地方金融機関が自己評価を行い、結果を開示するよう求めている。

勉強会は2月23日開催。

斎藤教授は地方銀行が取引先企業の格付けを相手に伝え、二人三脚で経営改善に取り組む道外事例などを紹介。企業経営者らに「金融機関が一緒に歩んでくれる相手か」を見極めた上で担当者に強みも弱みも知らせ、課題を共有して」と呼びかけた。（市村信子）